

安全データシート (SDS)

作成年月日 2006年4月1日
最新改訂年月日 2023年3月6日

1 物質または混合物および会社情報

【化学品の名称】

化学物質名 12-ヒドロキシステアリン酸、ひまし硬化油脂肪酸口
化学品の名称 業務用 油っ固

【提供者の情報】

供給者の会社名称 ライオン株式会社
住所 〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28
担当部局 電話番号 ヘルス&ホームケア事業本部 事業統括部 事業計画室 03-6739-3600
FAX番号 ヘルス&ホームケア事業本部 事業統括部 事業計画室 03-6739-9765
メールアドレス gsds@lion.co.jp推奨用途 グリース用原料(増稠剤)、合成樹脂用添加剤(滑剤、分散剤)、界面活性剤用原料、インキ、塗料用添加剤、化成品原料及び油の固化剤等。
使用上の制限 食用用途

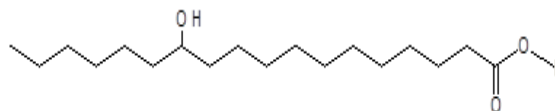
2 危険有害性の要約

GHS分類 区分に該当しない
その他の危険性 消防法 指定可燃物 可燃性固体類
粉塵爆発の恐れあり。静電気対策をとること。

3 組成及び成分情報

化学品の区別 化学物質
化学名 12-ヒドロキシステアリン酸
別名 12-ヒドロキシオクタデカン酸、ヒドロキシ脂肪族モノカルボン酸
含有量 100% 硬化ヒマシ油脂肪酸として
(12-ヒドロキシステアリン酸の純分は約85%)化学式 $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_5\text{CHOH}(\text{CH}_2)_{10}\text{COOH}$

CAS No. 106-14-9



4 応急措置

いずれの場合も必要に応じて医師の診断を受けること。

吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい体勢で休息させる。
皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗う
目に入った場合 水で数分間、洗うこと。次にコンタクトレンズ着用している場合で容易に外せる場合は外し、その後も15分間程度洗浄を続ける。
飲み込んだ場合 吐かせてはならない(気道に入ると化学性肺炎になる)。
直ちに医師の診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状 粉塵が過剰に発生した場合、皮膚に不快な刺激を与える。
飲み込んだ場合：吐き気、嘔吐、下痢

5 火災時の措置

適切な消火剤 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤 情報なし

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 漏洩物に触れない、漏洩物中を歩かない。
保護具および緊急措置 適切な保護具を着用する(項目8参照)
環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。
封じ込めと浄化の方法・機材 漏出、飛散したものをかき集めて密閉できる空容器に回収する。真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。この場合、火花/静電気防止ポンプを使用すること。湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。

7 取扱い及び保管上の注意**【取扱い】**

取扱者のばく露防止策	項目8参照し、保護具を着用する。
火災・爆発防止のための対策	粉塵の吸入を避ける。目及び皮膚との接触を避ける。 項目8参照し、局所および全体換気を実施する。火気厳禁。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
粉じんの発生防止策	静電気対策をとる。（防爆型でない）電気掃除機で吸引しない。

【保管】

混合接触禁止の化学物質 適切な保管条件	項目10を参照 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。禁煙。 強アルカリ物質から離して保管する。 直射日光を避け冷所、換気の良い場所で保管する。保管場所は施錠する。
安全な容器包装材料	容器包装に関しての規制なし。開封後、速やかに使用すること。保存する場合は密閉式容器が望ましい。

8 ばく露防止及び保護措置**【ばく露防止】**

管理濃度（安衛法65条）	設定なし
許容濃度（ばく露限界値）	日本産業衛生学会勧告 ¹⁾ 該当なし
生物学的指標等の許容濃度	米国産業衛生専門会（ACGIH, 2020）該当なし
ばく露軽減の設備対策	使用条件等を考慮し局所排気/全体換気設備を使用する。 保管場所及び設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーの設置が望ましい。

【保護措置】

保護具 呼吸器	防塵マスク
手	適切な保護手袋
眼	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚、身体	適切な保護衣を着用する。

注：本製品および同時に扱われる製品の使用条件等を考慮する必要があるため、設備や保護具はこれらの購入・設置時に製造メーカーに機能を確認し、法規に適合したものを選定・使用すること。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	固体、フレーク（薄片）または粉末
色	白色～微黄色
臭い	わずかに特異な臭い
凝固点/融点	70-80℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	有り、可燃性固体
爆発限界及び 爆発上限界/可燃限界	粉塵爆発の危険性：中位 粉塵爆発下限界濃度 55-60g/m ³ 静電気による着火の可能性：高い 最小着火エネルギー 1mJ以下 パウダー品12HSA-85099のデータ。試験法：JIS Z 8818、8834に準拠
引火点	294℃（クリーブランド開放式）
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶
・溶媒溶解性	エタノール 約36% 酢酸エチル 約 3% メチルエチルケトン 約 5%
n-オクタノール/水分分配係数	データなし
蒸気圧	< 2.57 x 10 ⁻⁵ Pa (20℃)
密度及び/又は相対密度	約 0.95 (25 °C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	
・かさ密度	0.47g/cm ³ （薄片状）

10 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱においては安定である。
-----	------------------

化学的安定性	強アルカリ性物質と反応して、塩を生成する。
避けるべき条件	直射日光、高温環境
混触危険物質	強アルカリ物質
危険有害な分解生成物	データなし

11 有害性情報

急性毒性	経口 マウス：LD50>20g/kg
皮膚腐食性/刺激性	粉塵が過剰に発生した場合、皮膚に不快な刺激を与える。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	密閉された作業空間において粉塵が過剰に存在すると可視性を低減し、目に不快な刺激が発生する。
呼吸器または皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	該当なし（日本産業衛生学会、IARC、ACGIH、EPA、NTP、及びEUのリスト）
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性，単回ばく露	情報なし
特定標的臓器毒性，反復ばく露	情報なし
誤えん有害性	粉塵の発生時、鼻腔内に粉塵が堆積し不快な刺激を与えることがある。直ちに化学的又は機械的方法により粉塵を除去し洗浄を行う。

12 環境影響情報

生態毒性 急性毒性	魚 LC50 >100mg/L バクテリア EC50 >100mg/L
残留性・分解性	良分解性
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13 廃棄上の注意

- ・廃棄に関する法規および地方自治体の基準に従って廃棄する。
- ・都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

14 輸送上の注意

国連危険物輸送	該当なし（IMDG、IATA、ARD/RID）
国内規制	陸上規制、海上規制、航空規制 該当なし

15 適用法令（日本国内）

化審法	既存化学物質 官報公示整理番号 2-1340
化学物質管理促進法	化管法PRTR制度及びSDS制度の指定化学物質 第1種指定515物質，第2種指定134物質 ²⁾ ：該当なし
労働安全衛生法	安衛法名称公表化学物質：ヒドロキシ脂肪族モノカルボン酸(C 6～24) ラベル表示・SDS交付の義務化予定234物質 ³⁾ ：該当なし
毒物及び劇物取締法	法令対象の毒物及び劇物：該当なし
火薬類取締法	法令対象の火薬，爆薬，火工品：該当なし
高压ガス保安法	法令対象の高压ガス：該当なし
消防法	指定可燃物，可燃性固体類（指定数量：3000kg）
船舶安全法	危険物船舶運送及び貯蔵規則（危規則）での危険物：該当なし
航空法	法令対象の危険物：該当なし
海上法・海洋汚染防止法	法令対象の危険物：該当なし

16 その他の情報

【各国規制リスト収載状況】

AICS（オーストラリア）	登録あり
DSL（カナダ）	登録あり
EINECS（EU）	登録あり 203-366-1
KECI（韓国）	登録あり KE-20750
IECSC（中国）	登録あり 序号：26956 中文名称：12-羟基硬脂酸
PICCS（フィリピン）	登録あり
NZIoC（ニュージーランド）	登録あり
TSCA（米国）	登録あり、ACTIVE 名称：Octadecanoic acid, 12-hydroxy-

【輸出貿易管理令】

別表第1、第1項～第15項	該当なし		
別表第1、第16項	第38類 化学工業製品		
別表第2	該当なし		
輸出統計品目表	H. S. code	3823. 19	(2022年1月版)

【参考文献及び注釈】

- 1) 産衛誌 2022, 64(5) 253-285
- 2) R5年度追加予定含む
- 3) R6年4月1日施行予定

【訂正および加筆箇所】

最新版における該当箇所は本文に下線をつけ示した。

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意をし、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、注意事項等は通常を取扱いを想定したもので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用下さい。なお、含有量、物理/化学性質等の数値は保証値ではありません。